

のびっこ

令和7年7月発行
恵那市社会教育課 太田
☎0573-26-6853

このおたよりでは、子育て情報や、子育てについて考えるキッカケを掲載していきます。

救急相談・病院案内

7 1 1 9



救急安心センターぎふ

急な病気やけがで「救急車を呼んだ方がいい？」
「今受診できる病院はどこ？」「応急手当の方法は？」等迷ったら電話！

子どもから大人まで、24時間365日、看護師等の医療従事者からアドバイスを受けられます。

◎つながらない時は、(058) 265-0009へ

◎緊急性がある時は、ためらわず119番通報
(子どものことは#8000でもOK)

死亡事故や後遺症が残る事故を防ぐために

家の中の危険に気づこう

乳幼児の不慮の事故の多くは、家庭内で起こっています（交通事故・自然災害を除く）。

乳幼児期に多い事故は、転落、転倒、誤飲・誤嚥、ぶつかる・当たる、さわる・接触する（火傷）、はさむ、刺す・切る、溺れる等。

重大な事故につながりやすい！

- ・誤飲による窒息 → 手の届かない所に置く
- ・タバコ、薬、ボタン電池の誤飲 → 手の届かない所に置く
- ・高所からの転落（階段、窓） → 柵の活用
- ・水の残った浴槽への転落 → すぐに流す

楽しいはずの玩具にも注意！

- ・水で膨らむボール状玩具の誤飲（腸閉塞の事例も）
- ・カプセル入りスポンジ玩具が膣から体内に入る
- ・ビーズや木の実を鼻や耳に入れる

参考 国民生活センターHP

帰省やお出かけ先は
要注意！



ちょっとトーク

親の個性、子どもの個性、家庭環境などがみんな違うように、価値観も子育ての【正解】もひとつではありません。だから【間違い】もありません。考え方は人それぞれ！

おうちの中で危険だった、あれは危ないかも…というエピソードはありますか？

ヒヤリハット
何かあった？

近くの人と
話してみましょう！

最後まで聞く 相づちを打つ
否定しない
自分の常識を押し付けない



活動紹介

開級式（はじめましての会）

市内3会場で乳幼児学級がスタートしました。
自己紹介をしたり、ちょっと困っていることを
先輩ママに相談したり、絵本との付き合い方を
学んだり。

ここで顔見知りが増え、悩みや地域の情報など
共有してもらえたらうれしいです。

情報があふれる今、情報整理のためにも会場で
おしゃべりしていただいくださいね。



子連れ防災

できることから、ちょっとずつ！



防災の考え方は、家庭によってそれぞれです。
家族構成やペットの有無で備蓄量も異なります。

非常食の代表格であるアルファ化米。

水やお湯を入れる前に「脱酸素剤」を取り出したり、水分を入れて
しっかり混ぜると味が均一になるなど、コツがあります。

いざという時に失敗しないよう、また、「毎食、この味付けを食べ
続けられる？」と家族で話すこともおすすめします。

今月のプチ防災

非常食を 食べてみよう



おやこの運動あそび

普段のあそびが丈夫な身体を育てます。

0歳児

個人差があります。その子のペースに
合わせて、自然の流れに従って、
育てていきましょう。



1歳児

首や手足もしっかりしてきて、ちょこまかと動き回ります。そっと手を添えてあそびの環境づくりをしてあげましょう。



2歳児

他人がやるのを見て、真似して遊べるようになります。親子で、又はお友達と行動することで、どんどん遊びが広がっていきます。



出典：『親子あそびで体力づくり』、(有)きのいい羊達、2013年3月、26～28ページ



編集後記：年中の娘が、「足がしびれてパチパチしてる」と言っていて、かわいいなと思ったこの頃。
一昨年は「カニにかまれた！」（蚊に刺された）と言っていました。

バックナンバー▼

